

エコアクション21

環境活動レポート

64期版（期間： 2010年7月～2011年6月）

《目次》

・環境方針	
・組織の概要、対象範囲	p. 1
・環境目標及びその実績	p. 2-7
・環境活動計画と取組結果とその評価	p. 8
・定期的法的遵守確認票	p. 9
・代表者による全体の評価と見直しの結果	p. 10
・環境管理組織	p. 11

この木について

樹木名：クリップアート
樹齢：1年3ヶ月
生育地：環境レポート表紙
特徴：環境活動と共に、成長する。



日本資材株式会社

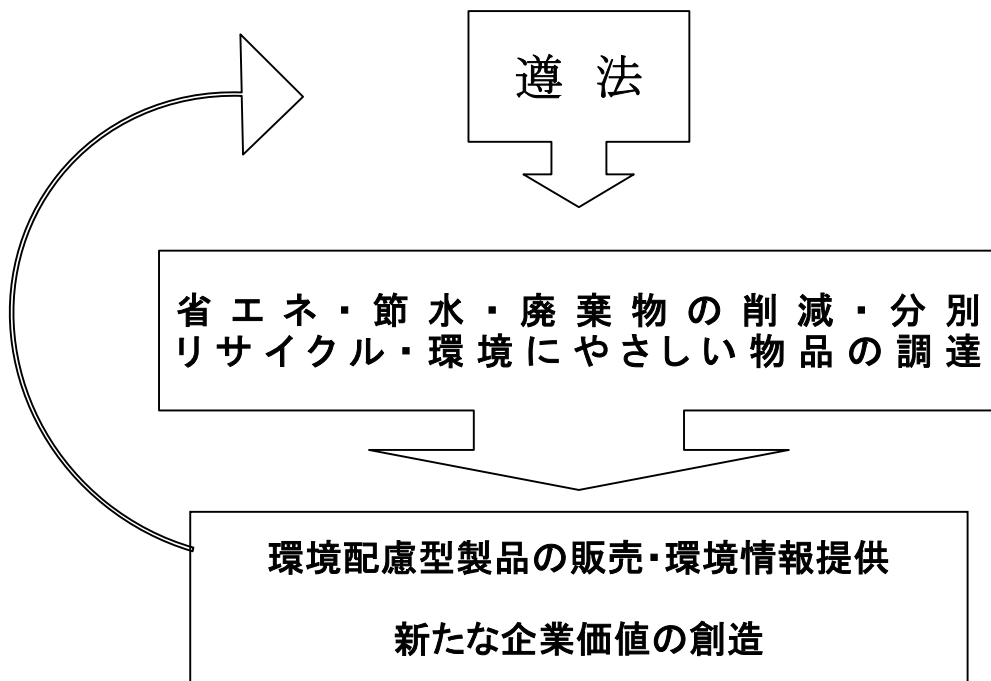
作成： 2011年12月16日

環 境 方 針

持続可能な社会を構築に向けて、事業者が担う責任として、環境負荷の継続的な削減へ取組み、環境経営を推進します。事業所内での省エネ、廃棄物の削減、分別リサイクル等だけでなく、仕入から販売まで(川上から川下まで)の原料・商品の流れの中で、取組むべき課題を問い、目標を定めて、全組織・全事業活動での環境負荷の削減を目指します。

基本方針は明快にして、着実に目標を達成致します。

- 一. 先ず、環境に悪いことをしない。(環境に関する法規等の遵守)
- 二. 次に、環境に良いことをする。(省エネ・節水・廃棄物の削減・分別リサイクル・環境にやさしい物品の調達)
- 三. 更に、環境配慮型製品の販売・環境情報提供を推進して、新たな企業価値の創造を目指します。



制定日：2010年9月29日

日本資材株式会社 取締役社長 高野繁正

□ 組織の概要

1) 名称及び代表者名

日本資材株式会社
代表取締役社長 高野 繁正

2) 所在地

本社 大阪府大阪市中央区博労町1丁目5番6号
東京店 東京都中央区日本橋箱崎町31-4
京都店 京都府南区上鳥羽岩ノ本町10
名古屋店 愛知県名古屋市西区幅下2-18-12
福井店 福井県福井市問屋町3-209
福山店 広島県福山市道三町3-7
見附店 新潟県見附市新町3-11-11
R&Dセンター 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-2

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役統括部長 寺尾 周二 TEL : 06-6264-0222
担当者 管理本部課長 本山 幸一 TEL : 06-6264-0222

4) 事業内容

販売代理店として、化学工業薬品、紙・合成紙・フィルム、染色設備・機械、各種消耗品等、産業資材全般を様々なメーカーに供給しています。
また、関連会社の(株)ダイニチで開発製造された、電子材料、ラミネート加工品及び機能性フィルムの販売を行っています。

5) 事業規模

売上高 本社 4,996百万円 (全社 12,427百万円) [2011年度実績]

	本社
従業員	32
延べ床面積 (m ²)	1,581

R&Dセンター
8
2100

(R&Dセンターは2008年度に認証取得済)

東京店	京都店	名古屋店	福井店	福山店	見附店	合 計
13	3	2	10	1	1	69名
196	237	99	794	73	231	5,311m ²

6) 事業年度 7月～6月

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 日本資材株式会社 本社

対象外: 各営業拠点 (東京、京都、名古屋、福井、福山、見附)
2012年度に拡大予定

活動: 産業資材全般、電子材料、ラミネート加工品及び機能性フィルムの販売

2011年度（2010年7月～2011年6月）

□環境目標及びその実績

項 目		2009年度 (基準年度)	2010年度 (実績)	2011年度 (目標)	2011年度 (実績)	評価 X△○	2012年度 (目標)
電力量使用あたりの CO2排出量	kg-CO2	43,097	40,613	38,787	40,710	X	37,925
			△5.8%	(△10%)	△5.5%		(△12%)
自動車燃料使用量 あたりのCO2排出量	kg-CO2	27,422	28,878	25,228	24,884	○	24,679
			5.3%増	(△8%)	△9%		(△10%)
CO2排出量 合計	(Kg/年)	70,519	69,491	64,015	65,594	△	62,604
			△1.5%	(△9%)	△6.9%		(△11%)
一般廃棄物 (中間リサイクル含 み)	(Kg/年)		1,299	数値化	1,417	○	△1%
産業廃棄物 (マニユフェスト)	(Kg/年)		0	数値化	0	○	
廃棄物排出量 合計	(Kg/年)		1,299	数値化	1,417	○	△1%
生活用水使用量 の削減	(m ³ /年)	447	305	305	288	○	305
			△31%		△48%		
化学品の販売量 (数量の把握)	(Kg/年)		951,238	数値化	1,017,384	○	化学品 輸入量 の管理
社内グリーン購入の (オフィス用品含み) 向上	(品目数/年)		0		0	X	活動のみ
コピー用紙購入量の 削減	(Kg/年)		1,219	1,180	1,033	○	1,180
				(△3%)	△15%		(△3%)

※電気使用あたりのCO2排出量は、基準年度のCO2排出係数0.366kg-CO2/kWh

※化学品販売量は、PRTR対象物質含有の繊維加工剤グループ製品の数量。

※製品サービスについても、目標設定が難し為、活動のみとする。

(図表1) 電気使用量

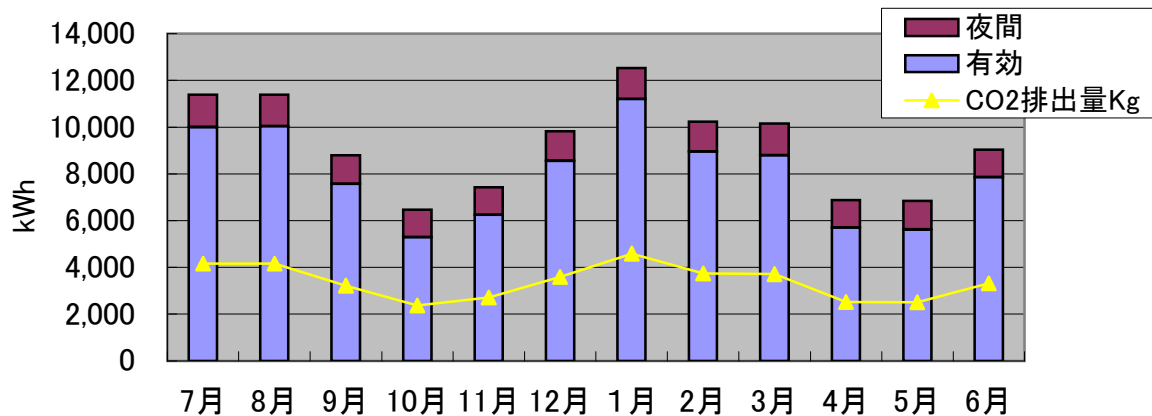
(CO2排出係数: 0.366kg-CO2/kWh)

2009年7月～2010年6月

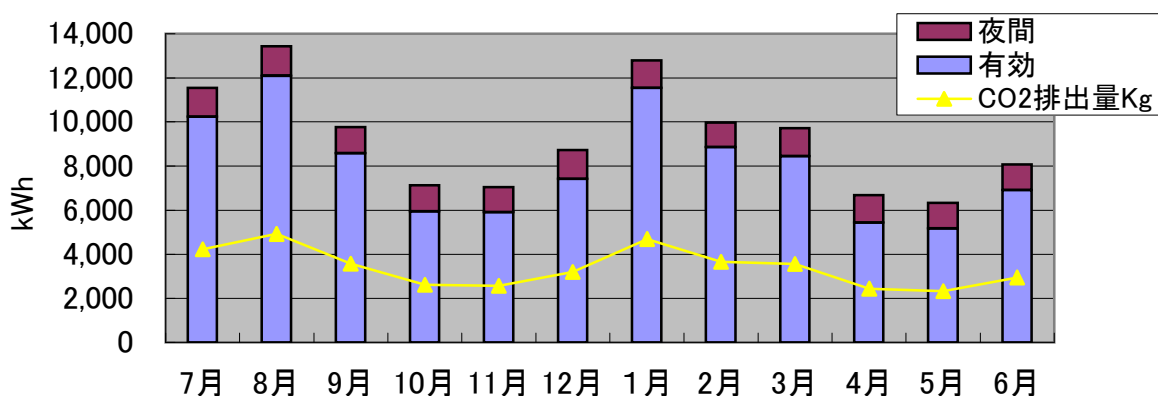
2010年7月～2011年6月

	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)
7 月	11,386	10,005	1,381	4,167	11,539	10,245	1,294	4,223
8 月	11,385	10,038	1,347	4,167	13,440	12,103	1,337	4,919
9 月	8,789	7,582	1,207	3,217	9,781	8,577	1,204	3,580
10 月	6,465	5,292	1,173	2,366	7,126	5,943	1,183	2,608
11 月	7,426	6,249	1,177	2,718	7,037	5,914	1,123	2,576
12 月	9,820	8,562	1,258	3,594	8,734	7,416	1,318	3,197
1 月	12,539	11,211	1,328	4,589	12,797	11,542	1,255	4,684
2 月	10,231	8,960	1,271	3,745	9,981	8,853	1,128	3,653
3 月	10,153	8,798	1,355	3,716	9,718	8,449	1,269	3,557
4 月	6,877	5,697	1,180	2,517	6,674	5,428	1,246	2,443
5 月	6,847	5,617	1,230	2,506	6,334	5,176	1,158	2,318
6 月	9,047	7,861	1,186	3,311	8,068	6,920	1,148	2,953
合 計	110,965	95,872	15,093	40,613	111,229	96,566	14,663	40,710

電気使用量(2009年7月～2010年6月)



電気使用量(2010年7月～2011年6月)



(図表2)ガソリン使用量

排出係数 2.32166

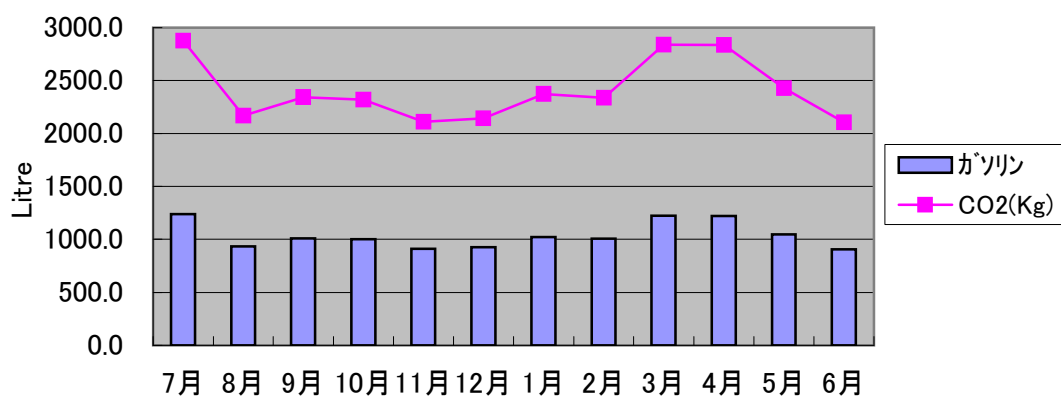
2009年7月～2010年6月

2010年7月～2011年6月

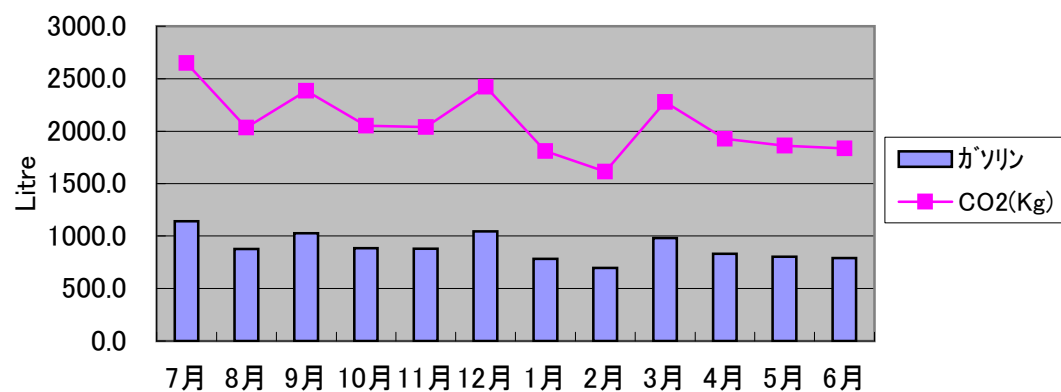
	モービル	JOMO	合 計	排出量Kg	合 計	排出量Kg
7 月	780.0	460.1	1240.1	2877.032	1141.0	2649.014
8 月	651.6	282.5	934.1	2167.112	875.0	2031.453
9 月	773.3	236.9	1010.2	2343.664	1026.0	2382.023
10 月	639.9	359.9	999.8	2319.536	884.0	2052.347
11 月	658.3	251.3	909.6	2110.272	878.0	2038.417
12 月	742.6	181.3	923.9	2143.448	1044.0	2423.813
1 月	837.4	185.6	1023.0	2373.36	780.0	1810.895
2 月	703.2	304.0	1007.2	2336.797	695.0	1613.554
3 月	901.1	322.4	1223.5	2838.45	981.0	2277.548
4 月	922.0	300.5	1222.5	2836.293	830.0	1926.978
5 月	695.9	350.3	1046.2	2427.138	802.0	1861.971
6 月	632.9	274.6	907.5	2105.4	790.0	1834.111

合 計	9054.0	3509.4	12447.6	28878.5	10726.0	24902.1
-----	--------	--------	---------	---------	---------	---------

2010年度ガソリン使用量とCO2排出量



2011年度ガソリン使用量とCO2排出量



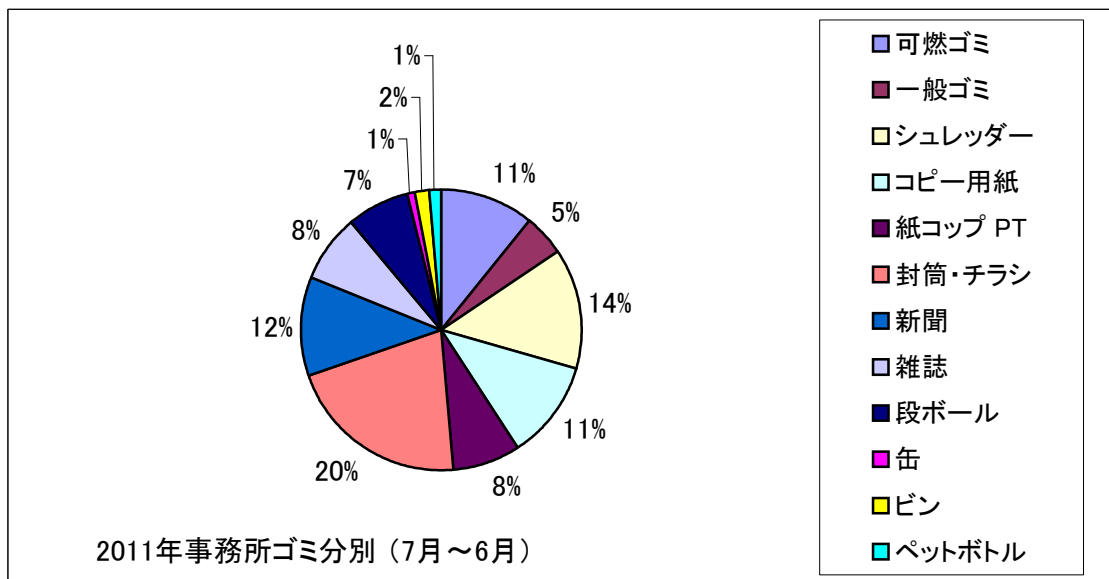
(図表3)2011年事務所ゴミ分別 (2010年7月～2011年6月)

	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	合計
可燃ゴミ	40,300	31,900	31,800	48,400	152,400
一般ゴミ	31,500	9,800	16,700	9,500	67,500
シュレッダー	36,500	50,800	46,100	64,400	197,800
コピー用紙	31,400	51,600	38,900	40,900	162,800
紙コップ PT	26,800	22,800	28,500	31,300	109,400
封筒・チラシ	63,900	86,300	80,700	65,700	296,600
新聞	23,000	52,000	31,000	58,000	164,000
雑誌	22,000	28,000	27,500	33,000	110,500
段ボール	22,500	21,000	35,000	23,000	101,500
缶	5,500	2,000	1,000	2,000	10,500
ビン	5,000	7,500	6,000	7,500	26,000
ペットボトル	8,300	5,130	2,000	2,500	17,930

中間分別

合計(単位g)	316,700	368,830	345,200	386,200	1,416,930
---------	---------	---------	---------	---------	-----------

中間リサイクル(g)	244,900	327,130	296,700	328,300	1,197,030
分別率(%)	77%	89%	86%	85%	84%



※事務系一般廃棄物について、表1から84%が資源ゴミとして、分別出来ています。

※図1から、シュレッダーの大半は、コピー用紙と思われますので、シュレッダーとコピー用紙を合わせれば、約25%になります。
コピー用紙の節約が、省エネに効果的です。

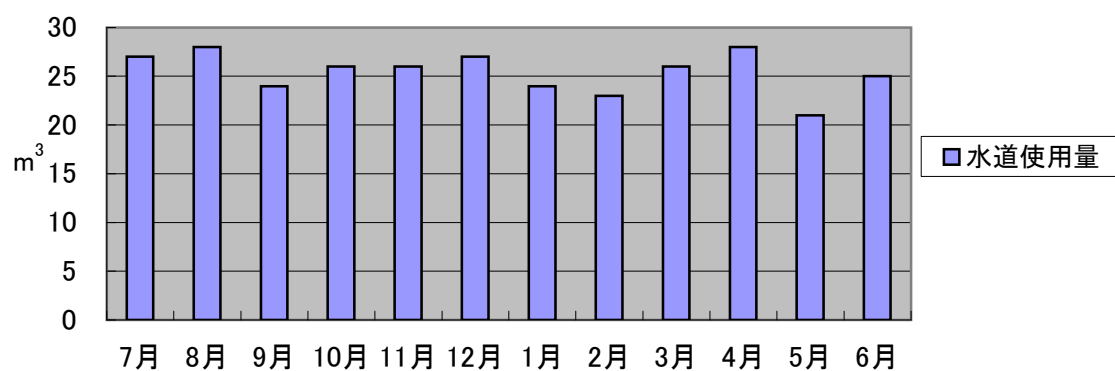
(図表4)水道使用量
2009年7月～2010年6月

	m ³
7 月	27
8 月	28
9 月	24
10 月	26
11 月	26
12 月	27
1 月	24
2 月	23
3 月	26
4 月	28
5 月	21
6 月	25
合計	305

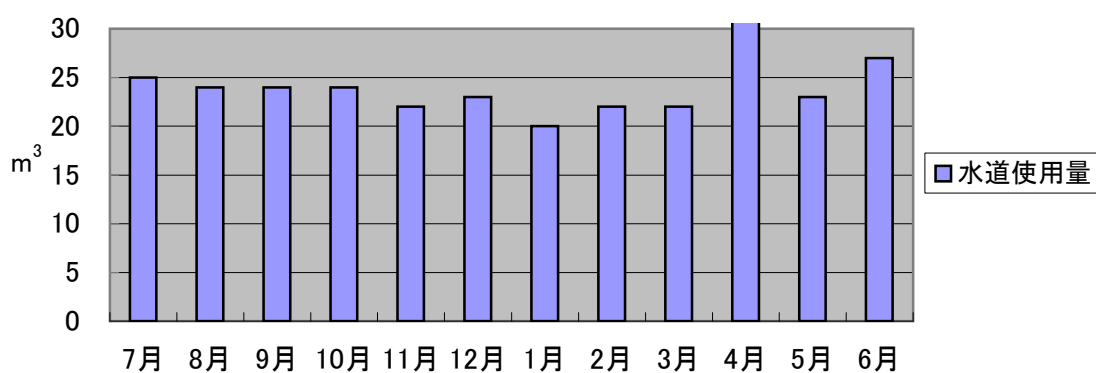
2010年7月～2011年6月

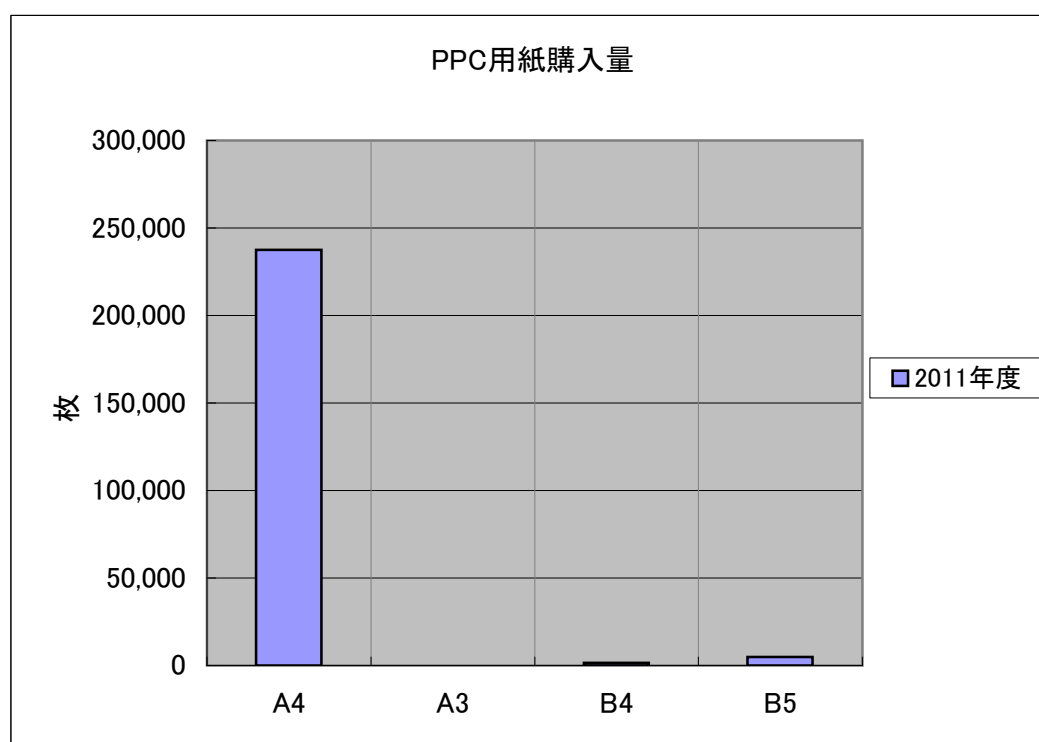
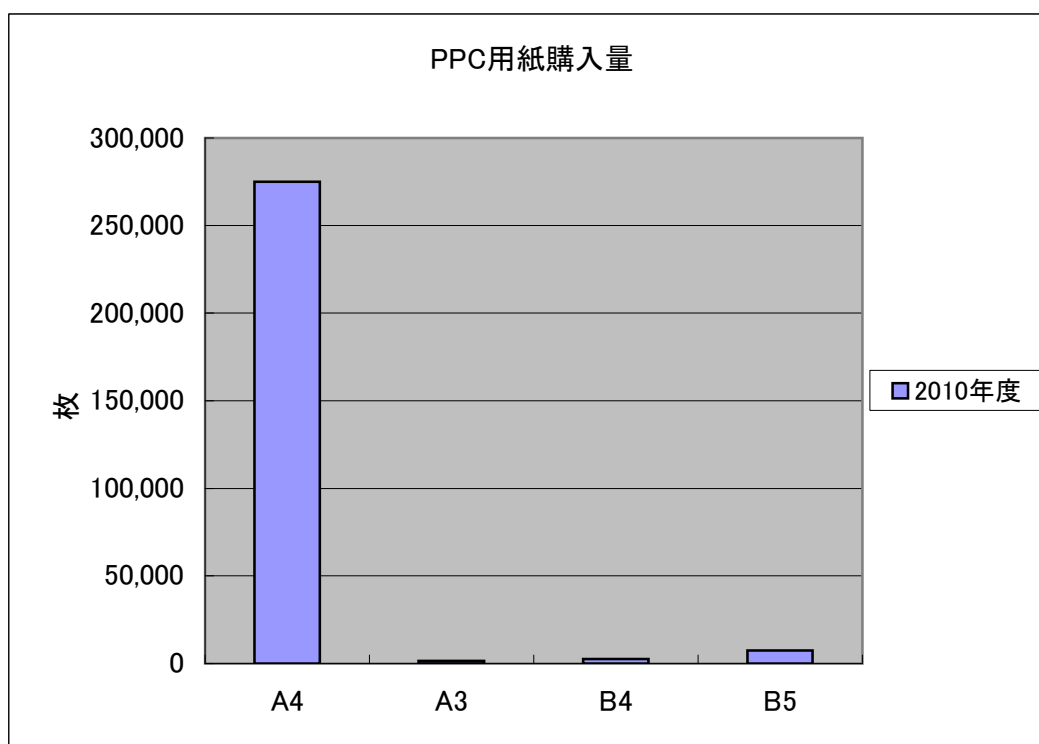
	m ³
7 月	25
8 月	24
9 月	24
10 月	24
11 月	22
12 月	23
1 月	20
2 月	22
3 月	22
4 月	32
5 月	23
6 月	27
合計	288

2010年度水道使用量



2011年度水道使用量





2011年度（2010年7月～2011年7月）



環境管理計画

作成	2011年11月28日
改訂	

訂正日	訂正日

承認	作成
年月日	年月日
23.11.28	23.11.28

環境方針	環境目的及び実施項目	スケジュール		取組結果とその評価	評価 ○△×	問題の是正及び予防
		2011年度	2012年度			
1. 環境に悪いことをしない 《法規制の遵守》	環境関連法規 (1)コンプライアンス(法令遵守)の強化の為、 効果的な法令対応の明確化			環境法他関係届出書等を管理本部で一括管理 ファイル化を継続している。	○	エコ21の全社化に向け、支店との情報の 共有化を検討開始する。
2. 環境に良いことをする 省資源活動 《事業系一般廃棄 物量の削減》	(1)一般廃棄物から資源ゴミ分別の徹底 ①数値化 ②コピー用紙裏紙使用の促進	1%減	1%減	月別ゴミ排出量の記録データは、出来ていますが、 (担当:管理本部 斉藤)記録データを、ごみの削減 まで繋がるような、データ類の揭示はできていませ ん。 裏紙も使用も増えているようですが、裏紙使用の促進	○	記録データのサイボーズへの揭示等の 検討。 5F裏紙置場を、コピー機の近くにも設置 する。(裏紙を使いやすくする)
	(2)電力量使用あたりのCO2排出量の削減 ①空調の適温化、フィルター清掃	10%減	12%減	空調のフィルター清掃記録作成。	○	空調の余冷熱利用(終了前の事前 スイッチオフ)も揭示する。
	(3)自動車燃料使用量あたりのCO2排出量 の削減 ①車両別の運行日誌の見える化	8%減	10%減	損保ジャパンのエコドライブコンテストに参加、 毎月の全車両の合計走行距離、合計燃料使用 量および事故件数の報告シートを利用。 (第1回エコドライブコンテスト 事故率部門入賞)	○	営業車のリース更新時に、ハイブリット 車へ切換えをする。
	(4)化学物質販売量の計量化 (PRTR法対象物質)			繊維加工剤グループ製品の商品コードから、PRTR 含有品の集計は、続けていますが、化学物質 販売量の計量化は、データの検討中。	○	商品コードから基準にするデータを 選択する。 ※改正化審査の輸入数量届出を最優先
	(5)総商品販売量の数値化			引続き検討中。	×	売上データの利用の検討。
	(6)社内グリーン購入の品目の検討			蛍光灯40W→37W白色へ随時変更。 オフィス用品は、グリーン購入の為、目標は設定せ 各階のトイレに、揭示。	△	設備交換時に、グリーン購入の活動を 継続する。
	(7)節水ラベルを水回りに掲示する				○	弊社取扱商品の節水蛇口(iKool)の 使用も検討する。
(節水の取組み記載: 2010.10.15.改定)						
3. 環境配慮型製品の販売 環境情報提供	(1)取扱い商品の分析 (2)重点分野の計画化			当社(東京店)が輸入代理店として取扱の 節水蛇口(iKool)を、大阪でも販売開始。 放射能測定器の通販開始。	△	営業・販売とエコアクション取組と 連携について検討する。

作成 2011年4月1日

承認	評価者
	

1. 定期的法規制遵守評価表

当社では、下記の事項に付いて、1回／年 法規制遵守評価を実施する。

法規制	チェック項目	評価の結果	苦情、訴訟の有無
1、廃棄物処理法 及び大阪市条例	①事業系廃棄物は適正に区分し、処理されているか。	○	無
	②事業系廃棄物は資格を持った業者に処理・処分の委託をしているか。	○	
	③事業系廃棄物の保管は適切にされているか。	○	
	④事業系廃棄物は適切な掲示がなされているか。	○	
2、家電リサイクル法	①家電廃棄物の引渡しは適切にされているか。	○	無
3、化管法 (MSDS制度)	①対象化学品の販売時に、MSDSの提供がされているか。	○	無
	②書類の保管がなされているか。	△	
	③行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
4、消防法	①安全確保の管理は適切になされているか。	○	無
	②消防用設備等の点検・報告が適切にされているか。	○	
	③行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
5、毒物劇物取締法	①劇物表示があるか。	○	無
	②鍵の掛かる保管庫に保管されているか。	○	
	③入出庫の管理と書類の保管ができていないか。	○	
	④行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
6、改正化審法 (2011.4.1)	①1化学物質につき、1企業当たり1.0トン以上の製造(輸入)数量等について、経産省へ届出義務 (届出書類準備中)	△	無

(不適合が発見された場合)

不具合が発見された場合環境管理責任者へ連絡指示を受ける。

2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間、法規制違反及び訴訟はありません。

代表者による全体の評価と見直し

東北大震災による、7月～8月の節電への取組みでは、電力使用量は、2%と増加になったが、前年同月の最大需要電力は、18kW(10.9%)下回った。

(事務局から:18kWは、平成23年夏季節電に伴う割引の対象となりました。)

電力使用量は、前年比5.7%増となったが、ガソリン使用量は、前年比13.8%減となり、当社の二酸化炭素排出量は、前年比5.6減となった。

1. 二酸化炭素排出量及び節水について

事務系オフィスでの、節水及び節電、営業車用ガソリンによる二酸化炭素排出量削減は、限られた量になるが、経費節減に繋がる、管理ツールとしても利用しながら、排出量を管理・削減する。

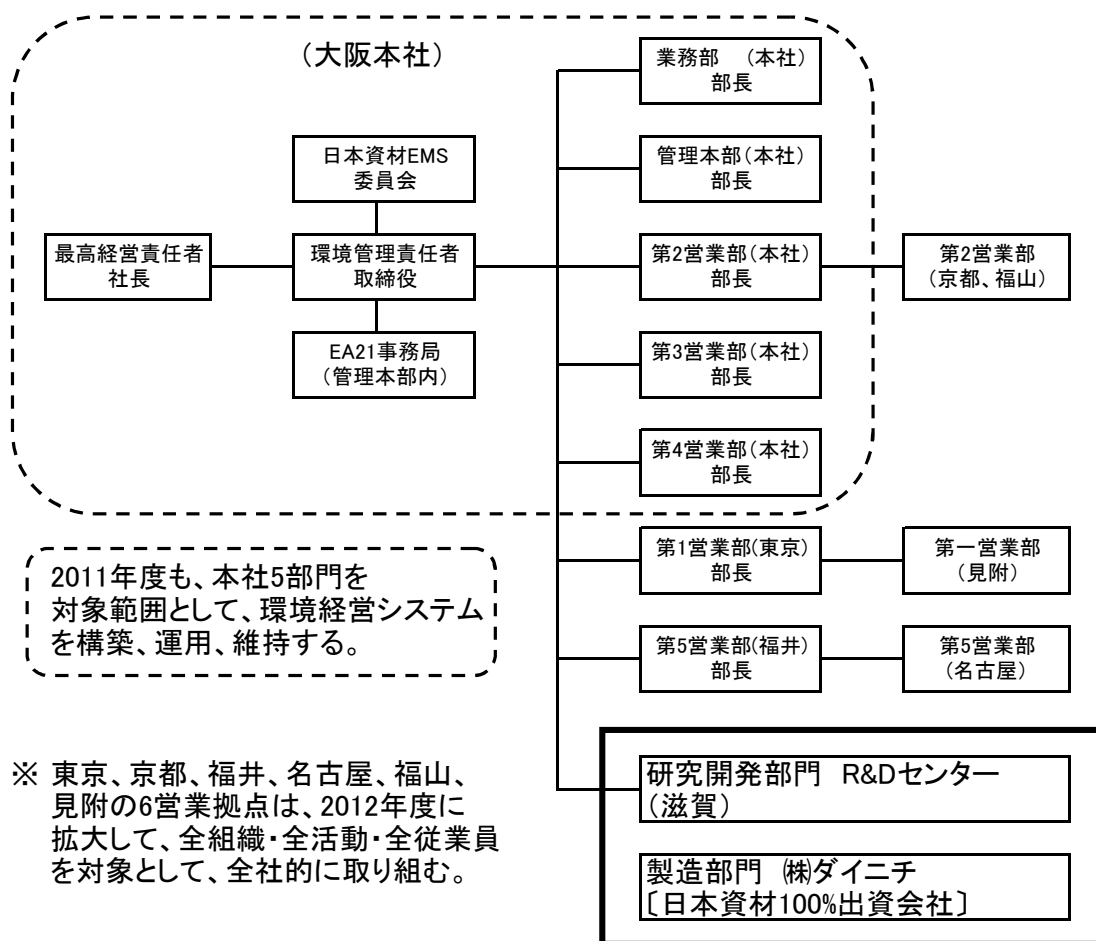
2. グリーン購入について

事務用品、文具などは、すでに、環境配慮商品が使用されています。
営業車のハイブリットカー導入が、目標になり、ガソリン使用量の削減を計画。

3. 環境配慮型製品の販売について

節水・節エネルギー水柱器具(iKool)の取扱を始め、消費者商品の取扱を増やす。

日本資材株式会社 環境管理組織



注： 研究部門であるR&Dセンターは、(株)ダイニチの敷地内にあり、(株)ダイニチと共に環境活動に取り組んでいます。[EA21認証・登録済]

環境活動レポート (64期)

発行 2011年12月16日

日本資材株式会社 EA21事務局

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-5-6

電話:06-6264-0222 fax:06-6264-0115

<http://www.nippon-shizai.com>

email: info@nippon-shizai.com